

7 新たな観光県やまぐち創造プロジェクト

概要

本県ならではのツーリズムの創出や、データに基づく観光地経営の実践に向けた支援、デジタル技術を活用した戦略的なプロモーションの展開等を通じて、持続可能で国内外から選ばれる新たな観光県やまぐちを創造する

重点施策

- 25 観光客の心をつかむ新たな戦略的プロモーションの展開
- 26 やまぐちの多彩な魅力を活かした交流人口の拡大
- 27 反転攻勢に向けた戦略的な誘客対策によるインバウンドの拡大
- 28 新たなニーズを捉えた持続可能な観光地域づくり

(1) 成果指標の状況

成果指標	進捗状況	指標数	主な指標
	★★★★★ (目標を達成)		
	★★★★ (計画を上回る)	2	観光消費額 (年間)、キャンプ場利用者数 (年間)
	★★★ (ほぼ計画どおり)	3	観光客数 (年間)、県立美術館の入館者数、外国人延べ宿泊者数 (年間)
	★★ (計画を下回る)	1	クルーズ船寄港回数
	★ (計画から大幅に遅れ)	1	延べ宿泊者数 (年間)

(2) 県民実感に係る調査結果

調査区分	調査項目	そう思う	どちらともいえない	そう思わない
県民実感度調査 (%)	国内外からの観光客を増加させる取組が進んでいると思いますか。	27.1	37.7	33.5

(3) 主な取組と成果

主な取組と成果	◆観光客の心をつかむ新たな戦略的プロモーション（誘客促進活動）の展開
	○ ニューヨーク・タイムズ紙の記事掲載や山口 DC の開催決定など、本県誘客の好機を最大限生かし、観光地としての認知度向上を図るため、観光キャッチフレーズ「おいでませ ふくの国、山口」のもと、戦略的なプロモーションを展開するとともに、宿泊客増加につながる観光資源開発に対する支援を進めるなど、 誘客促進と観光消費の向上に向けた取組 を推進
	・観光客数 3,103 万人 (R5 年) → 3,241 万人 (R6 年)
	・観光消費額 1,623 億円 (R5 年) → 2,054 億円 (R6 年)
	◆やまぐちの多彩な魅力を活かした交流人口の拡大
	○ アウトドアスポーツを核としたツーリズムによる交流人口の拡大に向け、自然の循環に思いを巡らせながら体を動かすことを楽しむアクティビティ「SEA TO SUMMIT」の誘致や、本県のサイクルルートやキャンプ場の魅力発信など、「スポーツフィールドやまぐち」の取組を推進
	○ レノファ山口 F C や ACT SAIKYO、ながとブルーエンジェルスと連携を図り、 エキシビジョンマッチの開催、交流イベント等 を実施
	・レノファ山口ホームゲーム観客者数 9.3 万人 (R5 年度) → 11.6 万人 (R6 年度)
	○ 美術館での企画展の開催や、県内文化の魅力を発信する「やまぐち文化プログラム」の展開等により、 多彩な文化資源を活用 した交流人口の拡大を促進
	・県立美術館の入館者数 17 万人 (H29～R3 年度平均) → 18 万人 (R4～R6 年度平均)

◆戦略的な誘客対策によるインバウンド（外国人観光客誘致）の拡大

- 海外からの注目度の高まりや大阪・関西万博の開催を契機としてインバウンド需要を確実に取り込んでいくため、台湾や韓国等の重点５市場に加え、欧米豪市場もターゲットとして、海外メディアや OTA、デジタル媒体等を活用したプロモーションを展開したほか、観光プロモーターと連携した現地の旅行会社への働きかけや情報発信を行うなど、インバウンド拡大に向けた取組を推進

・外国人延べ宿泊者数 9.1 万人（R5 年）→ 12.6 万人（R6 年）

◆新たなニーズを捉えた持続可能な観光地域づくり

- 本県の豊かな自然のポテンシャルを活かした**新たなツーリズムの創出**に向け、やまぐちDMOとの連携により全県を挙げた推進体制の構築を図るとともに、本県ならではのアウトドアツーリズムを象徴する特別なコンテンツの開発への支援を実施

(4) 総評

総
評

本県の観光客数は前年比で増加したところであるが、国内外からの誘客を一層促進していくため、大阪・関西万博から山口デスティネーションキャンペーン(DC)へと続く一連の好機を捉え、戦略的なプロモーションや魅力的な観光地域づくり等に取り組んでいくことが求められている。

(5) 課題と今後の展開方向

課
題
と
今
後
の
展
開
方
向

◆観光客の心をつかむ新たな戦略的プロモーション（誘客促進活動）の展開

- 全国からの誘客を拡大していくため、観光キャッチフレーズ「おいでませ ふくの国、山口」のもと、大規模なキャンペーンを展開するとともに、R8 年秋開催の山口 DC に向けて、観光素材の大都市圏での発信や県内周遊促進などのプロモーションを展開する必要がある。

◆やまぐちの多彩な魅力を活かした交流人口の拡大

- スポーツの力や多彩な文化資源を活用し、交流人口の拡大を図るとともに、国内外からの誘客促進を図る必要がある。

◆戦略的な誘客対策によるインバウンド（外国人観光客誘致）の拡大

- インバウンド需要が大都市圏に集中する状況の中、大阪・関西万博や山口 DC の開催等を契機とし、外国人観光客の本県への誘客を拡大していくための戦略的なプロモーションや受入環境の整備を推進していく必要がある。

◆新たなニーズを捉えた持続可能な観光地域づくり

- 多彩な文化財や豊かな自然を活かした山口ならではのツーリズムの創出を図るとともに、若者が地域と連携して実施する観光振興の取組を支援するなど、持続可能な観光地域づくりに向けた取組を一層推進する必要がある。

(参考) 令和 7 年度の主な新規・拡充取組

新 「万福の旅」山口 DC プロモーション事業

山口 DC の効果を最大限高めるため、全国からの誘客と県内周遊を促進することで、本県の観光産業の活性化や観光県としてのブランディングにつながるプロモーションを展開

新 世界に誇る!文化ツーリズム推進事業

山口県が世界に誇る文化財「瑠璃光寺五重塔」及び「錦帯橋」を核とし、地域の資源や文化を体験できる「体験型観光コンテンツ」の旅行商品開発や提供等、文化ツーリズムを推進する取組を実施

拡 **ビジットやまぐち推進事業**

海外からの注目度の高まりや大阪・関西万博の開催を契機とする、重点5市場及び欧米豪市場から本県への外国人観光客の確実な取り込みに向けて、海外の旅行会社や大手旅行サイト、メディア等とも連携し、更なる認知度向上に向けた戦略的なプロモーションや誘客促進の取組等を強化

新 **アウトドア体験コンテンツ魅力向上事業**

本県のアウトドアブランドの定着化に向け、アウトドア体験の価値を高めるコンテンツ開発やガイド人材の育成支援を実施

新 **若者活躍による観光カパワーアップ事業**

若者の目線による魅力的な観光地域づくりと、新たな観光人材の発掘・育成を目的として、若者が主体となり地域と連携して実施する観光振興の取組を支援